＼キリストを基督と書くのはなぜ？／

# 聖書から出た日本語100（ひゃく） 米川明彦 著

「接吻は聖書から出た」「天国は当初テンコクであった」「愛の意味が昔と今では違っていた？！」……聖書が出典の日本語100項目を、テレビなどでもおなじみの日本語研究の第一人者が解説。もともとの意味を解説しながら、原語、語源、訳語の歴史、国語辞典への掲載などを網羅し、知って楽しい知識が満載。

テレビ番組「チコちゃんに叱られる」や新聞・雑誌にたびたび登場！

著者プロフィール　**米川明彦（よねかわ あきひこ）**

1955年、三重県生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士課程修了（国語学専攻）。学術博士。梅花女子大学名誉教授。単立教会の牧師。日本語、特に俗語研究の第一人者で、テレビ・雑誌などにもたびたび登場。専門は日本語（俗語）・聖書・手話研究。日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団のろう者聖書学校では「聖書解釈学」を手話で教えている。日本語（俗語）・キリスト教・手話の各分野で編著書多数。『日本語ー手話辞典』（監修、全日本ろうあ連盟）で第17回新村出賞受賞。

B6判 224頁 定価1,650円（本体1,500円＋税）
ISBN978-4-264-04394-2 C0016
いのちのことば社　卸コード 18205